

## 製品名: TMS1 ウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe86764

研究使用のみ

### 概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

### 応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000, IP 1:10-1:100
分子量	Calculated MW:22 kDa; Observed MW:22 kDa

### 抗原情報

遺伝子名	TMS1
別名	ASC; TMS; TMS1; CARD5; TMS-1
遺伝子ID	29108
SwissProt ID	Q9ULZ3
免疫原	ヒトTMS1の合成ペプチド

### 背景

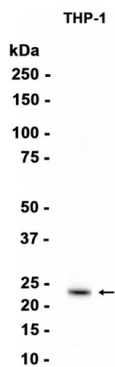
この遺伝子は、2つのタンパク質間相互作用ドメイン、すなわち N 末端の PYRIN-PAAD-DAPIN ドメイン (PYD) と C 末端のカス

パーゼリクルートメントドメイン (CARD) から構成されるアダプタータンパク質をコードしています。PYD ドメインと CARD ドメインは、6 ヘリックスバンドルデスドメインフォールドスーパーファミリーのメンバーであり、カスパーゼの活性化を介して炎症およびアポトーシスシグナル伝達経路における大規模なシグナル伝達複合体の形成を媒介します。正常細胞では、このタンパク質は細胞質に局在しますが、アポトーシスを起こしている細胞では、核周縁部付近に球状の凝集体を形成します。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする2つの転写バリエーションが見つっています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

## 研究分野

-

## 画像データ



TMS1 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用して THP-1 細胞抽出物をウェスタンブロット分析しました。